

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

平成30年7月(西日本)豪雨に対する義捐金の取り組みについて

6月28日から7月8日にかけての台風7号および梅雨前線などの影響による集中豪雨は、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。この豪雨により、多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者は220名、行方不明者10名を数えています。また、住宅被害も全壊5,236棟、半壊5,790棟、一部損壊3,024棟、床上浸水13,258棟、床下浸水20,942棟(7月31日現在 ※7月下旬の台風12号による被害を含む)とのぼっています。さらにライフラインおよび交通への被害も広範囲に発生しており「平成最悪の水害」と報道されています。

JR 東日本労働組合(東日本ユニオン)は、災害発生直後より被災状況の把握とお見舞いを申し上げ、被災された方々への義捐金の取り組みを行います。取り組みに対する理解と賛同をお願いするとともに、労働組合として、労働者として相互扶助の精神を発揮させましょう。

◆取り組み期間 2018年9月1日(土)~9月25日(火)

◆義捐金の金額は賛同された方々の任意とします。

◆義捐金は交通労協を通じて
被災された交通労働者の生活再建支援に役立っています。

**私たちの出来ることを取り組もう!!
取り組みへの理解と賛同をお願いします。**